

令和4年度第1回沖縄県土木建築部

道路管理課及び都市計画・モノレール課の公の施設に係る指定管理者制度運用委員会 モニタリング 検証結果

1 開催日時 令和4年7月26日(火)午後2時～午後4時20分

2 開催場所 県庁11階第4会議室

3 委員出席状況 委員5名全員出席

委員 琉球大学工学部工学科 准教授 神谷 大介

委員 西里恵里紗税理士事務所 税理士 西里 恵里紗

委員 株式会社泉設計 代表取締役社長 當間 卓

委員 (株)リウボウインダストリー 取締役管理本部長 八幡 辰弥

委員 沖縄都市モノレール(株) 経営企画部長 我那覇 和代

4 議題 令和3年度指定管理者モニタリング実施結果の検証について

①県民広場地下駐車場

②てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場

5 検証内容

(1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか

(2) 指定管理者に対する県の指導・助言等は適切に行われているか

(3) アンケートや苦情等に対する対応は適切か

6 検証方法

(1) 所管課からモニタリング実施結果の報告

(2) 委員からの質疑応答、意見等

7 質疑の概要

<てだこ浦西駅パークアンドライド駐車場>

(委員) 令和元年度に比べて令和2年度の指定管理料が増えているのはなぜか。

A. 令和元年度は10月開業のため、半年分の指定管理料となっており、令和2年度は年度分の指定管理料となっているため。

また、年度ごとに指定管理者の料金収入が増えるため、指定管理料は減っていくという考え方となっている。

(委員) 定期契約者件数をさらに増やしていくために、今後どのような広告を行うのか。

A. ポスティングが有効であるが、経費がかなりかかるため、今後の利用料金収入が増

えその経費が捻出できればポスティングを行いたい。

収入によりポスティングが難しい場合は、県でできる経費がかからない広告掲載や事業所にポスター掲示依頼を行うなどしたい。

(委員)施設内で逆走はあるのか。

- A. 新規利用者が逆走することがあるため、朝は従業員が進行方向を誘導している。案内表示もあるので、それも含めて利用者への周知に努めたい。

(委員)新しい施設なため小規模修繕は無いとのことだが、長期の修繕計画は作られているか。

- A. 県の長寿命化計画により作成している。

(委員)交通系ICカードが利用できればより利便性が向上するのではないか。

- A. 令和4年度7月から窓口でのクレジットカード決済を導入した。昨日までに定期券購入者15件の利用があり、今後も利用者が増えると思われ、利便性向上が図られると考えている。

(委員)施設稼働率の平均駐車時間の目標値は、利用者の利用時間帯の実態に合わせた設定の方が良い。

- A. 現在の目標値は、すべての利用時間の平均を設定しているため、今後は実態に合わせた設定を検討する。

(委員)利用者数の現状分析にあっては、モノレールへの乗換を促す目的からも、モノレール利用者数やてだこ浦西駅利用者数と比較する見方も加えると良い。

- A. そのような見方からも現状分析を行いたい。

以上。